

平成22年度

学校支援地域本部事業報告

京都教育大学桃山地区学校支援地域本部事業

京都教育大学附属桃山小学校支援地域本部のとりくみ

(平成22年10月現在)

※ 取組みの詳細については、京都教育大学附属桃山小学校のホームページに紹介

※ HPアドレス <http://fuzokumomo.jimdo.com/>

1, 基本理念

「できるときに! できることを! できるように!」

キーワードは、「人と人との絆づくり」

2, 目的

学校と家庭と地域が一緒になって、地域ぐるみで子どもを育てよう!

①学校教育の充実

子どもたちが、学校教育を支えてくれる多くの大人の姿を目の当たりにすることで、みんなに支えられて生きているという実感が持てるようになるために。

②生涯学習社会の実現

長年培った能力や自分のできることを社会のために活かしながら生きていくことを、誰もが自己実現とする社会を築いていくひとつの場になるように。

3, 平成22年度の活動計画づくり

4月 今年度の活動に参加してもらえる方を募集(60人の参加申し込み有り)

5月 参加申し込みに基づいて、コーディネーターは学校側の要求と照らし合わせながら活動内容の大筋を決める

6月 今年度の活動について全体説明会をもつ

①学校側から活動の趣旨について説明

②下記グループごとに顔合わせ

今年度の具体的な活動について話し合い、グループごとに活動計画を立てる。

環境整備クリニック

図書隊

園芸隊

裁縫隊

ほしぞら教室

4, 平成22年度 活動の報告

クリンクリン隊 毎水曜日朝9時ごろから、学校内の気をつくところの環境整備

(特に、子どもたちの清掃では手の回らないところ)

外回りなど、地域の方も活動に参加

学校行事などで人が集まるときには前日にも活動



図書隊 本の修理や整理について区の図書館員から講習を受けた後、活動を始めた。

本の修理や整理、そして読み聞かせを常時活動として活動をつづけている。

夏休み明けで貸し出した本が一時に返却されたときや、新しい本が入ったときなど、できるだけ早く児童が利用できるよう司書の手伝いをしている。



裁縫隊 学校内のカーテンが必要な場所にカーテンを製作してつるす

(楽器のカバーやオーブンのカバー、電子黒板のカバーなども製作)

夏休みには、給食のエプロン補修。運動会前には、玉入れの玉を製作したり補修したりした。おこを演奏するときにする座布団も製作中。



園芸隊 園芸のための土づくりから始めて、花を育てています。今まで、花の無かった場所に見事な花が咲いています。

学校飾り隊 児童昇降口の掲示板を見事な切り絵で飾る



カーテン隊 夏休みに学校中のカーテンをはずして補修洗濯



ピカピカ隊 夏休みに各教室のエアコンフィルター掃除

生き物お世話隊 夏休みの動植物の世話（えさやり 小屋掃除 水やりなど）

お父さんボランティア隊 木工やペンキ塗りなどお父さんが得意なことで



クラブ活動支援 将棋クラブで子どもたちに将棋を教えたり、課外活動の合唱団でピアノ伴奏をしたりして特技を活かす



校外活動支援 子どもたちが校外にでて学習する時の安全指導

ほしぞら教室 親子で楽しむほしぞら教室（学期に1回の定例教室のほか、9月には3回のミニ星空教室、もっと楽しみたい児童を集めて今年度中に5回のほしぞらアドバンス教室を開催。そして8月には東京都三鷹市で行われた第24回天文教育研究会での口頭発表にも参加した。）

7月に行った第9回ほしぞら教室では、リフティングボディづくりに挑戦



5. 活動の成果と課題

【成果】

活動に参加している大人の姿を見ている子どもたちの中に、自分からスタッフの手伝いをする姿がみられるようになってきた。目的の一つ目の「繋がりの中で活かされている自分」に気づいた姿ではないだろうか。

そして回を重ねるたびに、それぞれの持ち方が、「できるときに! できることを! できるように! 」というスローガンどおりに、みんなで参加しやすいように改善工夫された活動で行われるようになってきている。

【課題】

「この活動は、ボランティアが支えている活動である」ということの周知認識が浅いと思われるようなマナー違反を目にする。

「してもらってあたりまえ」ではなく、みんながボランティアを支えて行こうという姿勢になると、未永く継続できる活動になっていくだろう。